



地域はみんなの力で美しく

### 希望ヶ丘地域市民センター

2月3日、希望ヶ丘学区自治振興会希望ヶ丘分会企画の「希望ヶ丘お掃除し隊」による清掃活動が希望ヶ丘防災コミュニティセンター周辺にて行われました。

この日は、小さな子どもから大人まで約60名が参加し、お揃いのビブスを着て、和やかな雰囲気の中、側溝や道端に落ちている空き缶やペットボトル、紙くずなどを約1時間かけて拾いました。そして、収集したゴミを分別した後、温かい飲み物を飲みながら参加者同士の親睦が図られ、地域の皆さんの絆を深める日にもなりました。



### 「道普請」でまちづくり

### 鮎河地域市民センター

道路は通勤・通学はもちろんのこと、日常生活になくてはならない最も身近な公共施設です。この大切な道路を自分たちで守ろうと、区長さんの呼びかけで青土ダムを通過する県道の通行支障木の伐採を多くのボランティアの皆さんが参加して実施されました。作業区間も長く、多くの雑木の伐採を必要としたため、猛暑の夏から雪がちらつく冬にかけて、3回に分けて実施されました。熱意あるボランティア活動正に現代の「道普請」により、草木が被りつつそととしていた県道が明るく見通しの良い道路として蘇りました。最終回の作業終了後には慰労会も開催され、まちづくり談義に花が咲いていました。



### 広野台西区防災かまどベンチが完成

### 伴谷地域市民センター

広野台西区は、水口町の一番西側に位置する人口1,200余人の住宅団地です。昨年からの取り組みが始まった、ばんに自治振興会の防災備品整備事業により、今年度は「防災かまどベンチ」を集会所広場に2基設置することになりました。

区から委託された住民の有志が、講習を受け、資材の調達から施工までを行いました。寒風の中、試行錯誤しながら手造りの立派な「かまどベンチ」が完成しました。

災害発生時には避難所の炊き出し用として、普段は公園のベンチとして利用され、早速この春の区の行事に活用が予定されています。



### 百歳体操でリフレッシュ

### 信楽地域市民センター

「まちの保健室」は平成24年度から開始した事業です。健康相談に加え、糖尿病や認知症予防など、毎月テーマを設けて話を聞いたり、軽い体操などもしています。

1・2月は地域の方13名が参加され、「いきいき百歳体操」を行いました。高知市より始まったこの体操は、現在では全国的に広まり、老化とともに衰える筋力を鍛えるものです。簡単な動きですが、各動作をゆっくりと10回繰り返すのが結構大変で、無理しないようにと保健師さんが声をかけられていました。参加者がみんなで号令をかけながら体操し、終わった時には達成感にあふれ、生きいきとした笑顔がこぼれていました。

自治振興会の活動内容を紹介しています

## 多羅尾学区自治振興会

164世帯、420名が暮らす多羅尾区は現在、「少子高齢化」や「若者離れ」といった課題を抱えています。当区は、一学区一自治会であるため、従来からの事業はもちろん新たな事業にも積極的に取り組み、課題の解決を図っています。これまで区民全員が参画できる組織として、区民の皆さんの協力のもと少しずつ笑顔あふれるふるさとづくりをめざして活動してきました。



▲インドの高校生23名を受け入れ

**ブログ「陽だまり」を開設**  
日々の多羅尾の様子や自治振興会の行事などを発信していくため、多羅尾学区自治振興会ブログ「陽だまり」を開設しました。開始から1年、多くの方に閲覧していただきました。中には、多羅尾に足を運

**「ナマステ」ようこそ多羅尾へ**  
都市農村交流事業の受入家庭として、市が進めている「都市農村交流事業の一環として昨年からは、インド人学生のホームステイのほか都市部の学生を受け入れ、農業体験や郷土料理づくりなどを行いました。受入家庭の皆さんは、初めての取り組みに不安もありましたが、すぐに打ち解けることができ、学生たちにとっても有意義な時間を過ごすことが出来ました。中には現在でも、お互いに連絡を取り合い親交が続いている家庭もあります。本年は、6月に中学校の修学旅行生の受入を予定していただきます。これからも多羅尾の良い思い出を作ってほしいと願っています。



▲ECC国際外語専門学校生稲刈体験

郷を思うコメントをいただき大変励みになっています。今後地域に密着した様々な情報を発信していきたいと思っています。

▼多羅尾学区自治振興会ブログ「陽だまり」  
<http://tarokushiga-saku.net/>

### 案内地図看板「天空の郷 多羅尾」を設置

多羅尾を訪れていただいた方に地域の名所を知ってもらうため多羅尾駐在所前に案内地図看板を設置しました。看板には、地域3カ所の展望スポットのほか史跡などが記されています。

「天空の郷 多羅尾」と名付けたように標高500メートル以上の高地は県下でも数少なく、夏は別天地です。多くの方に多羅尾を訪れ、散策やハイキングを楽しんでいただけるようにただ今手持ち用散策マップも作成中です。

### 雲海から空中都市が臨めます

「展望スポット「御斎の杜」を整備」  
看板に掲載してある展望スポットのひ

とつである御斎の杜をもっと皆さんに足を運んでもらえるように整備しました。展望台からは、遠くは奈良県の曾爾高原が見え足元には三重県の島ヶ原や上野城が一望できます。また、秋から冬にかけての気温が上昇した次の早朝には上野市が雲海に包まれる景色も楽しめます。



▲「御斎の杜」から望む上野市

### 防災マップを作成

当地区は昭和28年の大水害を経験しており、住民の防災意識は以前から大変高いものでした。

さらに防災の充実を図るため、昨年よりもう一度避難経路の見直しや、避難場所や危険個所の確認を行い、県市および専門の業者の方々の協力のもとに防災マップの作成作業をしています。高齢者の方や要援護者の方の避難方法なども再確認し、地域一丸となって防災に備えています。

今後も一人一人が生かされる活動をしていきたいと考えています。

問い合わせ  
多羅尾地域市民センター  
☎057-855-0001